

2022年3月16日

## —2021年度千葉県代協第4回CSR委員会議事録—

開催日時：3月9日(水)15:00～ Webex 利用

出席者：大塚俊典（市原） 青木繁（木更津） 東條（京葉） 田原豊（千葉） 池辺晃司（東葛）  
倉富宗久（北総） 間立徹（安房） 藤代真土（銚子） 伊藤綱人（茂原）

オブザーバー：小口泰伸(会長)

議題内容：今年度振り返りと次年度 CSR 活動(リモート活動と現地活動のバランス)

開会を宣した後、会長より、三冠王獲得に向けてぼうさい探検隊マップコンクール募集が勢いを付けてくれたことに対して謝意が示された。本委員会も第4回で今年度最終となるので来年度に向けて審議いただきたい旨挨拶があった。

協議事項：

### 1. 赤い羽根共同募金

委員長より対面開催予定の行事が中止やWEB開催になる中、3月9日時点で北総、東葛、安房、木更津支部の活動費から拠出いただいた(3/16時点で銚子、茂原からも拠出)。また支部からの他、三役支部長会と理事会時の募金7,256円も送金済みである。支部会計処理の際は『寄付金等』で処理する旨周知した。

報告後、寄付先の選定協議に入り本年度も「子どもへの支援」「被災者、被災地支援」に決定した。引き続き3月末日までの募金協力を要請した。

### 2. 献血活動

推進方法を改めて周知した。毎月各支部最寄会場と献血ルームを全会員宛てにメール配信している。会員個々の他、代理店従業員および顧客への周知を促した。現状の問題点として企業団体献血の相次ぐ中止により献血数が著しく低下していることを委員長より報告した。全会員宛てのメールの周知は浸透しきれていないとの声が複数の委員から寄せられた。

支部主催の献血イベント実施について安房支部における3月13日イオンタウン館山の開催を間立委員から告知いただいた。

※飯田晴夫安房支部長以下支部役員7名と委員長が参加62名の方から献血いただいた。

### 3. 損保代理業に関連した『防災、減災の推進』～実効性あるハザードマップの活用／情報提供

昨日3月8日開催のセミナーについて委員長より概要を報告した。

講師の土屋信行氏は長らく都庁で建設土木行政マンとして活躍しその経験に裏付けられた防災減災のオーソリティとしての知見を拝聴した。

洪水は自然現象→水害は社会現象つまり「洪水があったとしても水害を発生させないことはできる」という信念の下、現在過去の時系列で日本列島全域の災害を分析起こらないで済んだ水害があまりにも多いことを痛感させられたセミナーであった。

千曲川氾濫により水没した北陸新幹線車両基地の事例から水没は防げたという主張は首肯できるどころ大であった。仮に浸水想定域に車両基地を建設したとしても退避を高架上にするというマニュアルだけで何十両もの水没は防げたという事例は示唆に富む。自宅や工場を建設予定のお客様に我々損保マンが助言出来ることとして建設場所、建設方法の提案がある。例えば高床にする、非常用発電機を地下ではなく屋上に設置するなどがある。氏の言葉「病院は防災機関にならねばならない」から「代理店は防災機関にならねばならない」と気づいたことも収穫である。セミナー受講出来なかった方には『首都水没』『水害列島』いずれも文春新書を我々損保マンの必携の書として推奨した。

12/14開催の粕谷智氏によるBCPで危機を乗り越えるセミナーの知見も合わせて共有を依頼した。

#### 4. サイバーセキュリティ

安房銚子支部合同で11月26日に実施したが引き続き推進が必要である旨委員長より促した。

トヨタ自動車のサプライチェーンを狙った攻撃によって操業停止したことでわかる通り、ウクライナ侵攻によりサイバーリスクは増大していることを共有した。事例として委員長のPCセキュリティソフトで検知されたトロイの木馬による攻撃について巧妙な手口もっともらしい文書名で信じ込ませ誤って感染させられる可能性を報告した。

田原委員からサイバー保険の販売状況は活況とは言えないとの発言があった。

#### 5. 次年度のCSR活動について

委員長より年4回のCSR委員会開催予定日、献血活動、募金活動、ぼうさい探検隊募集期間ならびに各キャンペーン実施時期目安を載せた年間カレンダーを示して確認周知を行った。各支部の役員改選状況を確認し委員交代予定のある場合は引き継ぎを綿密に行うよう依頼した。

#### 6. その他

委員長より、コロナ感染の影響で、WEB開催となり一度もお会いしていない委員もいらっしゃる中、活動に協力いただいたことに感謝を伝え引き続き活動への協力をお願いした。

次回開催日 2022年6月初旬 2022年度第1回委員会予定